

**令和4年度 特別研修（共同）**  
**「自治体DXのためのAI・RPA活用研修」実施要領**

- 1 目的 AI・RPAに関する知識、活用事例等を学び、業務の効率化や住民サービス向上につなげるための活用方法を身に付ける。
- 2 対象 【県・市町村】AI・RPAについて関心のある職員
- 3 定員 県90人・市町村30人（各回とも県45人・市町村15人）
- 4 日程 【第1回】 8月26日（金） 9：00～16：30  
8月29日（月） 9：00～16：30  
【第2回】 9月 9日（金） 9：00～16：30  
9月12日（月） 9：00～16：30

1 目 目	オ ン レ キ ン テ ー シ ヨ ン	講 義・演 習	休 憩	講 義・演 習
	9:00 9:05		12:00 13:00	16:25 16:30
2 目 目		講 義・演 習	休 憩	講 義・演 習
				講義の 振り返り等

- 5 講師 一般社団法人 行政情報システム研究所 狩野 英司 氏  
埼玉県職員、茨城県行方市職員、東京都品川区職員
- 6 実施方法 Zoomによるオンライン受講  
※Zoomの利用環境を用意できない場合、以下の担当まで御連絡ください。
- 7 会場 各所属・各団体で指定する場所
- 8 オンライン研修受講の流れ
- (1) 事前準備
- ・グループワークがありますので、マイク、カメラ及び発言が可能な受講環境を御準備ください。
  - ・研修資料は後日送付いたしますので、各自でお手元に御用意ください。
  - ・別添の**事前課題**については、**【第1回】**に御参加の方は**8月10日（水）**までに、**【第2回】**御参加の方は**8月17日（水）**までに、下記担当者のメールアドレス宛てに提出してください。
  - ・**【県職員のみ】**SRDシステム(リモートデスクトップ)では研修に参加できません。在宅勤務の場合は自宅等の回線から接続する等して、県庁LANの負荷軽減に御協力ください。
- (2) 研修当日
- ・後日送付する「研修当日の参加方法について」に記載している日程のURLにより参加してください。マイク・ビデオの設定等の留意事項がありますので、必ず御確認ください。
  - ・出席確認のため、Zoomによる受講時は、表示名を「班No.+氏名+所属名」と設定してください。名前の設定は、ミーティング入室後に行います。
  - ・班No入りの名簿は、各回研修日の2日前までにお送りしますので、各自確認してください。

(3) 研修受講後

研修受講後は、別添様式により、受講報告を下記担当宛てにメールで提出してください。提出が無い場合、修了認定ができませんので御注意ください。

提出先：【県】下記担当宛

【市町村】各団体の研修担当課宛

期限：【第1回】9月1日(木) 【第2回】9月15日(木)

※ 別添の受講報告はPDF化せず、Excelで提出してください。

9 その他

- (1) 効果的な研修となるよう、在宅勤務や空き会議室等の活用により、受講環境の確保に御協力をお願いいたします。なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3密（密閉・密集・密接）を避けての受講をお願いいたします。
- (2) 業務等の都合によりやむを得ず欠席（遅刻・早退）する場合は、速やかに広域連合に連絡をした上で、「欠席（遅刻・早退）届」を提出してください。
- (3) 本講義については、録画、撮影（スクリーンショット含む）及び引用、転載等による第三者への共有はしないでください。

担当：人材開発部県職員担当	藤間	【E-mail】	<a href="mailto:fujima@hitozukuri.or.jp">fujima@hitozukuri.or.jp</a>
	市町村職員担当	賀村	【E-mail】 <a href="mailto:kamura@hitozukuri.or.jp">kamura@hitozukuri.or.jp</a>
【電 話】	048-664-6681	【FAX】	048-664-6667

## 特別研修（共同）

研修名	自治体DXのための AI・RPA活用研修		受講者の声	
			難しい専門概念も、図や具体例を多く紹介していただき分かりやすく、自分の業務に置き換えて考えることができました。自治体職員による事例紹介では、リアルな成功例や苦労話を聞ける良い機会となりました。	
講師	一般社団法人 行政情報システム研究所 狩野 英司 <sup>かのう えいじ</sup> ほか		期 間	2日間
			会 場	各所属・各団体で指定する場所
			予 定 人 員	県90人・市町村30人
ねらい	AI・RPAに関する知識、活用事例等を学び、業務の効率化や住民サービス向上につなげるための活用方法を身に付けます。			
対象者	AI・RPAについて関心のある職員			
実施日	① 8月26日（金）・29日（月）（県45人・市町村15人） ② 9月 9日（金）・12日（月）（県45人・市町村15人）			
手法	オンライン研修			
学 習 計 画				
日程	カリキュラム	時間数		内 容
		時	分	
1日 9:00 ～ 16:30	オリエンテーション	0	05	研修全般に関するオリエンテーション等
	デジタルトランスフォーメーション（DX）の基礎知識 AIの基礎知識と導入方法 RPAの基礎知識と導入方法	6	25	DX、AI・RPAとはそもそも何か、どこまで可能になっているのか、行政のどのような用途に活用できるのか、どのように活用できるのか、といった知識を分かりやすくお伝えします。
	業務改革と業務改善 業務見える化グループワーク AI・RPA動作実演			RPA導入の前提となる業務改革や業務フローの作成の基礎知識を、実習を通じて学びます。
	先行事例紹介・質疑応答① （講師：自治体職員）			RPA導入の担当者から、現場での苦労や課題解決の方法などを聞き出します。
	関連トピックス			AI活用の基となる「ユーザー中心」等を学びます。
2日 9:00 ～ 16:30	ビッグデータとAI デザイン思考とAI AIの導入パターンと事例	6	25	AI活用に不可欠となる、ビッグデータやデザイン思考の基礎知識を分かりやすく解説します。 AI主要な導入パターンと事例を解説します。
	先行事例紹介・質疑応答② （講師：自治体職員）			AI導入の担当者から、現場での苦労や課題解決の方法などを聞き出します。
	埼玉県施策・事例紹介 （講師：埼玉県職員）			埼玉県及び県内市町村でのAI・RPA活用に向けた施策と事例を解説します。
	AI活用方法企画のためのグループワーク			2日間で得た知識をもとに、AI活用のアイデアを、グループワークを通じて検討します。
	まとめ・質疑応答 講義の振り返り等	0	05	質疑応答、アンケート記入等
備 考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県職員と市町村職員との共同研修（市町村研修コード NO.308～309）</li> <li>・全2回実施</li> <li>・事前課題があります。</li> </ul>			